



育てよ！ 町の宝

宝達志水町

議会だより

第80号

令和7年（2025年）

5月1日発行

石川県宝達志水町議会



「新入児をむかえる会」中央保育所

はじめて保育所へ入所する0歳から2歳の子どもたち。"はじめまして"の場所で少し緊張したかな。すこやかに育ってね。

- 令和7年第1回定例会・・・・・・・・・・2
- 第1回臨時会・・・・・・・・・・3
- 「町政を問う」一般質問（4名）・・・・4
- 常任委員会等審議・・・・・・・・・・9～11
- 国へ意見書の送付・・・・・・・・・・12

令和7年第1回定例会

令和7年第1回町議会定例会が、2月27日から3月7日にかけて開催されました。

今回は、令和7年度当初予算をはじめ、令和6年度補正予算や条例改正、そのほか過疎地域持続的発展計画の変更や議会提出の「ひきこもり支援基本法の制定を求める意見書」の24件の議案に対し、22件が可決され、「温泉施設条例を廃止する条例」が否決され、「文化財施設条例の一部を改正する条例」が継続審査となりました。

また、選挙管理委員会委員及び補充員の選挙も行われ、新しい委員が決まりました。



▲「温泉施設条例を廃止する条例」の採決の様子

令和7年度 当初予算の状況

会 計 名		予 算 額	前年度比
一 般 会 計		107億9,000万円	14.9%
特 別 会 計	国 民 健 康 保 険	13億8,117万円	▲5.2%
	後 期 高 齢 者 医 療	2 億8,327万円	5.1%
	介 護 保 険	19億720万円	1.6%
	ケ ー ブ ル テ レ ビ 事 業		▲100.0%
公 営 企 業 会 計	水 道 事 業	12億715万円	109.4%
	下 水 道 事 業	42億126万円	166.3%
	病 院 事 業	16億6,357万円	2.4%

- 選挙管理委員会補充員

第1順位 田村 淳一氏(今 浜)

第2順位 久保 幸庸氏(所司原)

第3順位 中村 毅氏(北川尻)

第4順位 長谷川明弘氏(小 川)

○選挙管理委員会委員

小笠原邦和氏(菅 原)

清水 和義氏(御 館)

岡山 正美氏(子 浦)

金子 博昭氏(敷 浪)
- ◎選挙管理委員会

委員・補充員

令和7年度 当初予算の主な内容

所管課	事業名	概要	予算額
総務課	復興対策事業費	柳瀬会館及び宅地造成工事費	2,531万円
商工観光課	ふるさと納税推進事業費	近年、ふるさと納税の寄付額は上昇しており、引き続き、新規返礼品の開拓、魅力的な情報掲載、効果的なPR広告等を強化し、町内事業者の経営支援及び町の安定的な財源確保につなげる。	7億4,461万円
環境安全課	消防施設整備事業費	消防施設等の整備及び維持管理を行い、地域の消防・防災力の向上を図る。	5,089万円
子育て応援室	保育所運営費	令和6年度から2年間、町社会福祉協議会が認定こども園の指定管理を行い、新たな事業展開に取組み、特色ある保育・運営を実施する。観光バス等を利用した園外保育等により屋外、屋内の遊びの充実を図る。	4億599万円
健康づくり推進室	高齢者予防接種事業費	予防接種の実施により、感染のまん延及び重症化予防に努める。	6,219万円
地域整備課	公共土木施設災害復旧費	令和6年能登半島地震で被害があった道路等の公共土木施設を復旧する。	10億1,736万円
農林水産課	農産物等ブランド化推進事業費	農産物等のブランド化を推進し、付加価値を高めて収益の増加につなげ、農業の活性化を図る。	1,191万円
生涯学習課	その他施設災害復旧費(社会教育施設)	能登半島地震により被災した体育施設の復旧工事等を実施する。	1,500万円

議員別賛否の状況 (賛否が分かれた議案等のみ)

議案名	結果	松本由理子	西塔正樹	松井世己子	岩根信水	勝二正人	松浦文治	林稔	塚本勇仁	久保喜六	守田幸則	北本俊一	北信幸
議案第21号 宝達志水町温泉施設条例を廃止する条例	否決	×	×	×	×	○	×	-	欠	×	×	○	×

○は賛成、×は反対、△は退場、欠は欠席を表しています。なお、議長は、議事進行を行うため賛否表明はしません。賛否同数の場合のみ「議長裁決」として表明します。(「裁」と記載)

第1回臨時会

1月30日、第1回臨時会が開催され、補正予算1件、契約関係1件が可決されました。

補正予算の内容

○低所得者世帯支援給付金
給付事業費

4,296万円

低所得者世帯支援として、令和6年度住民税非課税世帯に対し、1世帯あたり3万円を給付する。

当該世帯において扶養されている18歳以下の児童1人につき2万円を加算して給付する。

契約の内容

○町道堂田線歩道整備工事
請負契約の締結について

・契約方法

一般競争入札

・契約金額

5,840万3,400円

・契約の相手方

勝二建設株式会社

町政を問う



QRコードを読み取ると一般質問の様子が見られるよ。議員の生の声をぜひ聞いてみて。

議員 4 名が一般質問

一般質問とは、議員が町政全般にわたって、町長などの執行機関に対して事務の執行状況や将来の方針などについて質問し、説明・報告を求めるものです。

※ QRコードを読み取ると、Youtube で配信されている各議員毎の一般質問をご覧になることができます。

ページ



■ まつうら ぶんじ 松浦 文治 議員 5

- ・スクールバス待合所に防犯灯や防犯カメラを
- ・避難者情報のデジタル化を



■ まつもと ゆりこ 松本 由理子 議員 6

- ・震災被害を受けた公園の修繕と桜の木の管理は
- ・子どもが遊べる屋内遊戯施設の考えはあるか



■ まつい せきこ 松井 世己子 議員 7

- ・屋内遊び場で子育て支援対策を
- ・古墳の湯の利活用を考えているか
- ・町の子ども食堂の現状を聞く



■ さいとう まさき 西塔 正樹 議員 8

- ・志乎・桜の里温泉古墳の湯閉館後の利用は

一般質問 「町政を問う」 (町政全般にわたる質問)



松浦 文治 議員

スクールバス待合所に
防犯灯や防犯カメラを
防犯カメラは必要箇所に設置済み
防犯カメラは必要性を検討する

問 松浦議員

① 町民の意見を取り入れた新たなバス停設置計画をどのように進めたか。

② 小学校バス運行の実証実験結果はどうか。バス停位置等に問題はないか。

③ 子どもの集合場所には教員に加え、警備員などを配置する安全確保対策をとっているか。

④ 通学路の点検は、学校と保護者のどちらが責任を持って行っているか。

⑤ 子育て世帯への支援策として、バス待合室に防犯カメラや防犯灯を設置してはどうか。

⑥ バス利用者が希望する場所の近くで乗降する仮想バス停での運行予定は。

⑦ 不審者等の危険に対し、子ども自身が対応できる

ように何かしているか。

⑧ 子どもや保護者、地域住民への危険情報周知は、どのようにしているのか。

答 松浦学校教育課長

兼小学校統合適備室長
① 保護者代表や学校関係者等で構成する小学校統合適備委員会の「通学・PTA部会」で、バスルートとバス停位置が検討され、バス停のある区長の意見も聞き決定した。

② 試走を重ね、定時運行や安全管理が可能と確認した。これまでスクールバスの運行がない小学校区での試乗を予定しており、その結果を踏まえ運行体制を整備していく。

③ 見守り隊には、通学路とスクールバスのバス停

までの経路もお願いしたいと考えている。

④ 通学路の安全点検は、町通学路交通安全プログラムに基づき、町教育委員会、学校、警察署、町交通安全協会、道路管理者、県の通学路安全対策アドバイザーが連携して毎年実施。また、保護者や防犯ブルーバード隊等からの通報にも、必要な対策を講じている。

⑤ 防犯灯は、必要なバス停に設置した。防犯カメラは、周囲の環境から必要性を検討する。

⑥ 仮想バス停は、児童にとって利便性がある一方、乗降場所の管理や安全確保に課題があるため、慎重に検討していく。

答 杉谷学校教育課
担当課長

⑦ 児童生徒に「イカノオスシ(ついてイカない。ノらない。オおこえでさけぶ。スぐに逃げる。シらせる。)」を意識させ、情報があった場合は、複

数での下校や保護者の迎えを要請する。

⑧ 不審者の情報は、中能登管内の中能登教育事務所から町教育委員会に提供され、その情報を各学

校に周知し、全校児童生徒に注意喚起を促す。

避難者情報のデジタル化を
今後の活用を検討する

問 松浦議員

能登半島地震で津波警報が発令された時、地区をまたいで逃げた町民や帰省者が入り交じり一気に避難所に人が押し寄せた。その結果、避難所人数の把握すらできず、また避難所の鍵がすぐ開けられず現場は騒然となった。

そこで、避難所受け付けを紙で行うことに加え、マイナンバーカードや運転免許証を使うことで避難者情報を瞬時に把握できるデジタルシステム導入の考えはないか。

答 寶達町長

デジタル技術を活用した避難所運営の可能性を探るとともに、今後の活用を検討していきたい。個人情報管理は、セキュリティ対策の強化や適切な運用ルールの整備も必要と考えている。





松本 由理子 議員

震災被害を受けた公園の修繕と桜の木の管理は

公園修繕は順次早期完成をめざす
公園等の桜は維持管理に努めている

問 松本議員
①液状化が激しかった柳瀬地区の隣にある白虎山公園は、周辺道路が崩れたままで車が通れず、行くこともできない状態。また、高齢者がグラウンドゴルフやパークゴルフをしたり、ウォーキングで周辺道路を歩いたりしているが、公衆トイレは故障したまま。雑草の手入れもされていない。

震災後の地域コミュニティの再生のためにも、公園の整備は必要で、特に公衆トイレは急務である。
②桜は、町の重要な観光資源であり、地域ブランドの象徴である。春には多くの観光客が桜を楽しむに訪れ、地域経済の活性化に十分貢献できる。
桜の維持管理を適切に行っているか。

答 杉谷地域整備課長
①能登半島地震で白虎山公園内に多くの地割れがあったが、砂を運び入れ令和6年3月末に復旧は完了した。
公園内の周辺道路も含めた道路災害復旧工事は、工事発注や詳細設計業務を順次早期完成を目指し進めている。
②公園内や道路沿いの桜については、定期的に専門業者による剪定、伐採などを行い維持管理に努めている。

答 宮本生涯学習課長
①白虎山公園軽スポーツセンターの給水管と屋根などの防水工事を令和6年度行っている。白虎山公園簡易野球場の改修は、令和7年度中完成に向け進めている。白虎山公園と吉野屋区内の公衆トイレは、修繕が困難なため新たなトイレの設置を検討している。

子どもが遊べる 屋内遊戯施設の考えはあるか

施設の内容や
整備計画を検討したい

問 松本議員
現状、町内には十分な屋内遊戯施設がない。町の未来を担う子どもたちのために、雨の日や寒い日でも安心して遊べる環境を提供することは、町づくりに欠かせない要素。屋内遊戯施設の建設の検討を始めることを強く求める。

答 寶達町長
屋内遊戯施設の整備は非常にニーズが高く、令和5年度に実施した第3期子ども・子育て支援事業計画策定に係るアンケート調査でも、身近な公園等、安全な遊び場の確保を求める声があった。また、他の自治体で整備された施設の人気が高く、

町民の利用も多いと認識し、本町にも施設を整備したいと考えている。令和7年度「町こども計画」の策定を予定しており、これに併せて、子どもや子育て世代の意見を基に、施設の内容や整備計画を検討したい。



▲白虎山公園の全景

一般質問 「町政を問う」 (町政全般にわたる質問)



松井 世己子 議員

屋内遊び場で子育て支援対策を

ニーズ把握しながら整備に取り組みたい

コミュニティをサポートする空間を作っていたきたい。

かほく市の「かほつくる」のようにカフェスペースも併設すると、親子が交流できる。また、図書併設があれば、学生や子ども、若い人からお年寄りまで交流の場にもなる。

それから、柔軟な保育時間を導入するなどして保育サービスを強化することで、住みやすい環境をつくり、町に定住してもらう一因になる。

子ども真ん中社会を合言葉に取り組みたいと思いがいかか。

問 松井議員

一年の4分の3は外で遊べない環境の中、子どもたちの幼少期、いつでも体を使って遊べる場が必要である。雨でも安心して遊べる屋内遊び場は、特に小さい子どもがいる家庭には重要。「ラクナはくい」のように地域コ

答 寶達町長

今後の計画の策定に合わせて、また、ニーズ把握等しながら整備に向けて取り組みたい。

答 中川子育て応援室長

令和7年度に「町子ども計画」を策定する中で、屋内児童遊戯施設の設置

を検討する。

保育サービスでは、保護者の就労にかかわらず、一時保育、延長保育、休日保育、病後児保育などしている。

古墳の湯の利活用を考えているか

他の用途に転用は難しい

るといいが、閉じたりせず、地域のコミュニティの場として利用できる方法を考えているか。

答 寶達町長

当施設は浴場目的として建設されたもので、建物の構造上、他の用途に転用することは難しい。防災拠点への活用には、各室内の面積や耐震性、設備の構造上の制約があり、また、他の目的のための改修には、浴場設備の撤去等、用途の転換に大規模な改修が必要となり、ともに困難と考えている。

問 松井議員

利用されていた方から、非常に残念がる声を聞く。本当はそのまま継続され



▲古墳の湯浴場

◆その他の質問◆

○町子ども食堂の現状について

問 町政全般にわたる質問

本町には、令和5年4月に開設した個人経営の子ども食堂が1か所ある。現在は、だれでも利用できる「おとな・子ども食堂」として月1回開催されている。利用者の8割は高校生以下で、毎回10人から25人ほどの利用がある。現在、町からの支援は行っていないが、今後活動の内容に関する調査を行いたいと考えている。



西塔 正樹 議員

古墳の湯閉館後の利用は 施設の利活用は難しい

問 西塔議員

今なお閉館を惜しむ志平・桜の里温泉古墳の湯について伺う。

年間5万人が利用された古墳の湯。閉館する理由の1つに、新たに再生するには約2億7千万円の資金が必要であると、そして、指定管理者との契約期間が終わるとのこと。

しかし、ある業者は、半分ほどの金額でできるのではないだろうかと言う。A社、B社、C社と

見積もりを取ったのか。

そして、資金面を、県・国を問わず、くまなく検討されたのか。

特に問題なのは、閉館後の活用がないということである。

利活用について、町長の考えを聞きたい。

例えば、公園を整備して足湯設備をするとか、町独自の町内にある温泉施設への無料利用券を発行し、提供するなどしてよいのではないか。

答 守田商工観光課長

古墳の湯について、今回、足湯設置や町独自の温泉施設への無料利用券の提供など提案いただき、また、これまでもいろいろな提案をいただいたが、先の松井議員の質問に答えたとおり、施設の利活用継続は難しいと考えている。



▲温泉施設として利用された「古墳の湯」



▲「古墳の湯」周辺の景色

会期中の
常任委員会等審議

病院運営特別委員会

(2月28日)

○修学資金貸付金について

○修学資金貸付金とは、医者を育てるための貸付金か。(松井議員)

○そのとおりである。現在、医学部の学生で、将来、町立宝達志水病院で勤務する予定のものに貸し付けをしている。6年間貸し付けて、町立宝達志水病院で勤務した場合は、返済が免除となる。

○企業債と一時借入金について

○令和7年度の予算での企業債の額3,930万円は、医療機器更新等で高額になるかと思うが、この予算額内ですむのか。一時借入金も限度額1億

5,000万円で収まっているという解釈でよいか。(西塔議員)

○予算の企業債額は、今の時点での令和7年度に購入の医療機器を購入する額である。突発的に新たに購入するものができるときは、補正を行う。

○一時借入金は、公営企業法予算の形式上で記載しているが、実際、借入れは行っていない。今のところ、十分に現金預金を有しているため、当面、借り入れの予定はない。万が一、不足した場合に、この記載額を限度に、借り入れをする。

○収入増について

○入院患者、外来患者が増えて収入が増えればいいが、増えたのは何か特別な要因があったか。(守田議員)

○増えた要因は、把握できていない。診療報酬が昨年4月に行われたが、かなり厳しく、

簡単に収益が増えるものではなかった。

○当町の病院は、病床利用率が高く、外来患者数も多くなっているが、そうなった状況はわからない。患者が増えたのが要因とも言えない。

○带状疱疹の受け入れについて

○带状疱疹の受け入れ状況を知りたい。(西塔議員)

○带状疱疹の受け入れは、内科か皮膚科。早く気づき、診断、治療することが一番。

○ワクチンを希望される方には、ワクチンの値段を話すようにしている。

○接種する方には、一旦予約して、接種していただいている。

○病院玄関前の修繕について

○病院玄関前、地震での被災箇所が修繕されていない。どうなっているのか。

教育厚生常任委員会

(3月3日)

○フードドライブ、フードパントリーについて

○フードドライブ、フードパントリーの説明をしてほしい。(松井議員)

○寄付された食品を、ひとり人親等必要な人に配布する事業。社会福祉協議会で実施している。

○児童遊具施設について

○児童遊具施設の早急な整備をしてほしい。(松井議員)

○令和7年度、こども計画を策定する中で、子ども意見や若者の意見を取りまとめ、現状を把握し検討していきたい。

○宝の縁むすび事業について

○宝の縁むすび事業の昨年の実績は、人口対策に関わると思うが、なぜ予算が減っているのか。(久保議員)

病院運営特別委員会

出欠状況

松浦	委員長	○
松本	副委員長	○
守田	委員	○
塚本	委員	×
松井	委員	○
西塔	委員	○
林	議長	○

※「○」は出席、「×」は欠席

〔答〕石川県と（公財）いしか

わ結婚・子育て支援財団が縁結び支援する「あい

きゅん（登録料無料）の登録者は現在36名、縁結びi s tによるお見合

いを希望する「いしかわ縁結びマッチング（登録料2年で1万円）」の会

員は10名、「縁結びi s tによるお見合い（登録料無料）」会員は23名。

令和6年度より5人分の2万5,000円を減額している。令和7年度、

いしかわ縁結びマッチングの新規登録者は4名いるが、町への申請はない。

プライバシーの関係があり、窓口申請に行きにくいということ、昨年

12月末から電子申請ができるようにし、LINEや広報でお知らせしている。

町からの補助はあるか。また、利用者数の現状は。

（久保議員）

〔答〕町からの支援は指定管理料のみ。利用者は年々減少している。

○敬老事業について

〔答〕敬老事業は、継続で実施するか。敬老会の中止によ

って、地区敬老会から地区で行いたい要望が出たら、補助金等の対応を考

えているか。（守田議員）

〔答〕88歳の米寿記念品、100歳の祝い金贈呈事業は、継続して実施する。

地区から敬老会等実施したいと申し出があれば、柔軟に対応する。

○スクールバスについて

〔答〕冬期スクールバスの運行について、運転手確保が

困難との理由でダイヤ見直しを検討するところがあるが、どのような内容か。（守田議員）

〔答〕冬期スクールバスの運行は、小中学校で別の運行

している。運転手確保が問題で、小学生と中学生がともに乗ることやルートの見直しを検討するものである。

スクールバス待合所の悪天候への対策は。また、北川尻地内喜多家前にバス

ス停新設予定だが、交通量が

多く危険。横断歩道設置等の検討はあるか。（北本議員）

〔答〕新設のスクールバス停は、3方（両サイド、後ろ）

を囲んだ形態。雨風がしのげない状態なら、対応を検討する。

バス通学となる今後の見守り隊のあり方は。（北本議員）

〔答〕今後は、バス停までの道の見守りをお願いしたい。

○喜多家入場料について

〔答〕喜多家は修繕も多いのに、無料にするのはいかがなものか。（北本議員）

〔答〕近年、入場者数が減少。無料により人が増え、賑わいが増すことを期待し

ている。公費解体後、家を建てる方への補助について

○公費解体後、家を建て

ない方への補助について

〔答〕公費解体後、そこに家を建てる場合の土地の管理が難しい。特にお年寄り

は、草刈りが大変である。シルバーに仕事を頼んでも、防草シートを敷

くにしてもお金がかかる。町として、補助の考えは。（守田議員）

教育厚生常任委員会

出欠状況

勝二 委員長 ○

久保 副委員長 ○

北本 委員 ○

守田 委員 ○

塚本 委員 ×

松井 委員 ○

林 議長 ○

※「○」は出席、「×」は欠席

総務産業建設常任委員会

(3月5日)

○観光施設使用料について

〔答〕令和7年度当初予算歳入で、観光施設使用料を徴収している場所はどこか。（西塔議員）

〔答〕今浜海浜トイレ、山の龍宮城に設置の自動販売機と海浜児童公園、山頂公園駐車場の電柱の設置料

そのほか、今浜浜茶屋組合からの国定公園使用料が主なものである。

○やわらぎの郷桜管理助成金について

やわらぎの郷の桜管理助成金の内容は。（西塔議員）

〔答〕やわらぎの郷の管理団体からの要望で、桜の育成管理費に助成するもの。

○羽咋郡市町の給与状況について

〔答〕先般、羽咋郡市広域圏事務組合の全員協議会で各市町の給与状況（ラスパ

イレス指数)の質問をした。国を100としたら、羽咋市が95、羽咋郡市広域圏事務組合、志賀町が94、本町は92である。

今後の町づくりのためにも、各団体は同じ仕事をしているので、近隣市町と同じ程度の給与体系にもっていかないとけないのではないか。

(北議員)

災害対応、福祉の向上など業務をしており、しっかり評価することは重要。他の自治体とのバランスを考える必要がある、上げる方向で検討していく。

ODXの取り組みについて

DX関連の取り組みを教えてください。(松浦議員)

今年度から国の地域活性化企業人という制度を活用し、DX推進計画や人材研修をした。今後も2年間この制度を活用する。

○小学校の利活用について

樋川小学校の利活用事業の選考結果で、体育館とプールを利活用すると聞いたが、災害時にはどうするのか。(西塔議員)

募集要項で災害時には極力施設を開放してもらえようように明記している。選考会でも委員から質問があり、利活用提案者からは開放に配慮するという話があった。

宝達小学校と樋川小学校の利活用事業が決まったと聞いている。それぞれ他に提案はあったか。

1者ずつが評価項目の全体の5割以上の点数を取って決定したのか。また、今回の決定は、執行部が施設の使用を許可したことになるのか。地区説明会で区民が反対し、使わないでほしいと言える説明会なのか。(松本議員)

押水第一小学校は応募がなかったが、宝達小学校と樋川小学校は1者ずつの応募があった。

選考会の決定は、あくまでも契約候補者が決定しただけで、地区説明会で区民から反対があり、駄目だということになれば、できないと考える。説明会では契約候補者から提案内容を説明して、区民に協力・支援を求める会になると考える。

総務産業建設常任委員会

出欠状況

岩根	委員長	○
松浦	副委員長	○
北	委員	○
林	委員	○
西塔	委員	○
松本	委員	○

※「○」は出席、「×」は欠席

各委員会からの附帯意見

総務産業建設常任委員会

- ・能登半島地震の復旧・復興にスピード感をもって取り組むことはもとより、住民生活のなりわい、活気を向上させるための施策についても積極的に取り組まれない。
- ・町執行部は、重要な事業または変化のある施策については、議会と相談し議会の意見にも耳を傾けながら、町政運営に努められたい。

教育厚生常任委員会

- ・少子化対策として、子育て支援、スポーツ支援、学力向上支援に、より一層充実されたい。
- ・小学校統廃合に向けて、新年度からスムーズに運営ができるように、より一層気配りと配慮に取り組みたい。

病院運営特別委員会

- ・今後も引き続き、健全経営に努力されたい。
- ・地域の開業医と連携し、さらなる医療体制の構築を図られたい。

※附帯意見とは、議案を議決するにあたって、議会の希望意見として付すものをいいます。法律的な効果ではなく、政治的に尊重されるべきものとさせていただきます。

国に意見書提出へ

ひきこもり支援基本法の制定を求める意見書



提出者 宝達志水町議会議員 久保 喜六

賛同者 宝達志水町議会議員 北 信幸、北本 俊一、守田 幸則、塚本 勇仁

従来、若年層の問題とされてきたひきこもりは、平成30年の国の調査以降、40歳から64歳の中老年層にも及ぶことが明らかとなっており、高齢の親と働いていない独身の50代の子が同居している世帯に係る問題である、いわゆる「8050問題」に象徴されるように、ひきこもり状態の長期高年齢化が深刻な社会問題となっている。

ひきこもり支援に関係した法整備については、平成22年に施行された「子ども・若者育成支援推進法」があるが、対象が若者世代に限られており、また、平成27年に施行された「生活困窮者自立支援法」は、対象者を現に経済的に困窮し、最低限度の生活を維持することができなくなるおそれのある者に限定している。

ひきこもりの背景には、本人や家族の病気、介護、離職、経済的困窮、人間関係の孤立などの要因が複雑に重なり合っていることに加え、本人が希望する社会との関わり方も様々であることから、一人一人に寄り添った多種多様な支援の選択肢が求められ、それぞれの法の隙間で支援を受けることができないケースが生じている現状がある。

よって、国におかれては、ひきこもりを社会全体で取り組むべき課題と捉え、ひきこもり支援に関する施策を総合的かつ計画的に推進するための基本法の策定など、ひきこもり支援に関する法整備を早急に図られるよう、強く要望する。

◎定例会本会議傍聴のご案内

■受付 本会議当日、午前8時30分から議会事務局（役場庁舎3階）で受付いたします。

■手続 傍聴受付票にご自分の住所、氏名、年齢を記入し、傍聴券の交付を受け傍聴席へお入りください。

◎議会本会議の生中継をインターネット（YouTube）でご視聴できますのでご覧ください。

宝達志水町議会中継 で検索

（※本会議当日は、役場庁舎1階税務住民課側の町民サロンのテレビでもご視聴いただけます。）

●議会だよりへのご意見、ご感想がありましたら、
電話、FAX、Eメールなどでお寄せください。

広報編集特別委員会
(4月3日・8日)

委員長 勝二 正人

副委員長 西塔 正樹

委員 久保 喜六

委員 松浦 文治

委員 岩根 信水

令和7年5月1日 発行

■発行 宝達志水町議会

責任者／議長 林 稔

〒929-1492 石川県羽咋郡宝達志水町子浦そ18-1

TEL(0767)29-8310 (直通) / FAX(0767)29-4623

Eメール gikai@town.hodatsushimizu.lg.jp

■編集責任者／勝二 正人



この印刷物は、E3PAのゴールドプラス基準に適合した地球環境にやさしい印刷方法で作成されています
E3PA：環境保護印刷推進協議会

この広報は高精細340線で印刷したものです。